



小倉山通信

学校目標「自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校」

令和2年
12月24日
発行
【No.14】

日本の南極観測状況を知る！（1・2年総合）



12月21日（月）午後5時、1年生、6時間目は2年生が、総合的な学習の時間に、自衛隊大仙地、域事務所のN所長をはじめ4名の自衛隊員が、南極観測船「しらせ」の乗組員として、南極大陸に乗り出しました。乗組員は、南極の氷原を歩き、太陽を見、日本を解学し、自衛隊の組織、活動の目的と内容、自衛官になる方法等も詳しく教えていただきました。大変貴重な体験をすることができました。

分かる・できる・いかに授業を！（指導主事訪問）

12月22日（火）に、今年度最後の指導主事訪問がありました。秋田県教育庁南教育事務所、同雄勝出張所、仙北市北浦教育文化研究所から指導主事の先生方6名をお迎えして、本校の研究、授業等についてご指導をいただきました。午前中は児童生徒支援加配校訪問で、2校時と3校時の全クラスの授業を観ていただきました。その後、今年度の本校生徒の状況や生徒指導全般に対しての本校の組織的取組、いじめ防止の基本的方針、生徒指導上の課題に係る加配を活用した取組等について説明をしました。指導主事から本校が進めている積極的で開発的な生徒指導の今後に生かす取組や改善点についてご指導をいただきました。



午後は教科等の指導主事計画訪問で、3年B組が2階ホールでT教諭の家庭科を、3年C組が教室でS教諭の数学科、2年C組が教室でM教諭の英語科の研究授業を行いました。本校の職員全員も参観し、放課後にはそれぞれの授業について研究協議を行いました。本校の生徒がより「分かる・できる・使える」授業を目指して、どう指導すべきかを熱心に協議したり、来られた指導主事の先生方から指導をいただいたりしても、指導力の向上を図りました。生徒も先生も一緒に授業を作り出しているという良い雰囲気であると褒めいただいたことを大切にしながら、今後更に良い授業を目指して研究と毎時間の「分かりやすい」授業に取り組みたいです。

★栄 光(おめでとうございます!)

◆第43回児童生徒県南美術展(12月)

特賞 (仙北市長賞) : T. Tさん(1年)
 特賞 (AKT秋田テレビ社長賞) : I. Kさん(1年)
 奨励賞 : M. Kさん K. Rさん(1年)
 : I. Kさん F. Rさん(2年) T. Hさん(3年)
 入選 : S. Kさん A. Hさん N. Sさん H. Oさん(2年)
 : S. Tさん F. Kさん M. Mさん Y. Sさん(3年)

◆全日本アンソングコンテスト第43回秋田県大会県南地区予選大曲仙北大会(12月20日)

金賞 : 木管四重奏 (祝 秋田県大会出場)
 金賞 : 金管打楽器四重奏

生徒会で17の目標を目指そう!(SDGsバッチ贈呈式)



12月23日(水)の午後、仙北市教育委員会教育長が本校を訪れて、生徒代表の生徒会役員4名にSDGsのバッチを333個贈呈していただきました。教育長からは、「SDGs未来都市」として、平成30年に内閣総理大臣から東北で5市町村だけが選定されているその一つが本市であること。「SDGs持続可能な開発目標17」に対して、「健やかに美しく輝くまち」というまちづくりの基本理念のもと、「社会」「経済」「環境」の3側面から取組を統合的に進めている「～市民が創る誇りあるまち～小さな国際文化都市」を将来像に掲げて、第2次総合計画を策定し取り組んでいることなどを説明してくださいました。そして、中学生として、角館中の生徒会としてできることを小さなことでよいので、本校でも生徒職員全員がこのバッチをつけて取り組んでもらいたいと述べられました。これに応えて辻谷翔大後期生徒会長が、バッチをいただいたお礼の言葉を述べ、これからの生徒会活動にこの取組を更に意識して取り上げ、全員がこのバッチのもので意欲をもって活動して、この取組を盛り上げていきたいと誓いました。

今年(令和2年)のご協力に感謝いたします 来年もどうぞよろしく願いいたします!

「日進月歩～自ら行動し、仲間と成し遂げる～」の生徒会テーマを掲げ、3年生が学校を引っ張り、36年目の角中生徒会は最高に盛り上がりました。コロナの影響を受け、中止、変更、延期などの対応に、歯を食いしばりながらできることを精一杯頑張る姿に心を打たれました。

後期も2年生が伝統をしっかりと引き継ぎ、1年生と協力して、更に躍進しようとして努力しはじめています。コロナに負けない角中生。本当に頼もしく感じています。これもご家庭や地域のみなさんからのご理解とご支援のお陰と感謝申し上げます。

ご家庭のみなさまにおかれましては、どうぞよいお年(令和3年)をお迎えくださいまして、お一人お一人が幸せで、そして角中全体も幸せになれるよう、来年も今年以上の温かい心でのご理解、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

どうぞ新しいよい年(令和3年)を迎えください!